

■ 使用上の注意

- 当カタログの最新情報は弊社ホームページに掲載しております。カタログ発行後に修正、変更がないか定期的にご確認ください。
- インクジェット用のプリンタの機種、RIP、インク、ヒーター温度等により出力条件が異なります。本番前に十分にテストし、ご確認の上で使用してください。
- メディアをプリンタにセットする場合はロール端部を持ち、印刷面に直接手が触れないようご注意ください。
インクの定着不良の原因や皮脂等が印刷性能に影響する場合があります。綿手袋等の使用をお勧めします。
- インクが完全に乾燥する前に施工およびラミネート加工などの後加工は行わないでください。(使用環境やインクの種類によって乾燥時間は異なります)
- インクを十分乾燥させるためにも印字面は出来る限り空気に触れやすい状態にし、必要に応じて送風等されることをお勧めします。
- 溶剤用インクは、特に十分に乾燥時間を取ってください(48時間以上を推奨)。乾燥不足の場合、ラミネートフィルムやベースフィルムの粘着剤に悪影響を及ぼす場合があります。巻き取ったままの長時間放置や十分乾燥させないでラミネート加工をされると、インクの溶剤が揮発しきれず塩ビフィルムの中に残り、内側から糊が劣化する場合があります。
- 静電気が影響し、印字不良の原因となる場合があります。
静電気の発生しやすい季節は、室内の湿度を上げるなどの静電気対策を施し、出力を行うことを推奨します。
静電気の影響で塩ビの表面張力が変化し、印刷斑が発生する恐れがあります。
- メディアとプリンタ機種の組合せ、作業環境の違いや印刷設定により出力条件が異なりますので、事前に印刷テストを実施の上、ご使用ください。
- 当カタログに掲載の「短期」、「短・中期」、「中期」、「中・長期」、「長期」はあくまでも目安であり保証するものではありません。
- 事前にお客様の責任において製品が目的・用途に適合するかをご判断ください。
- 万一製品に起因する不具合が生じた場合、材料のみ代替提供致します。出力製品代、施工代等のクレームは負いかねますので、事前のご確認を十分に行ってご使用ください。
- 当カタログ掲載の数値は試験値および実測値であり、保証値ではありません。

■ 加工・施工上の注意

- 当カタログ掲載のメディアを屋外で使用する場合は、ラミネート加工を行うことをお勧めします。
- 屋外にて使用する場合は、エッジ処理されることをお勧めします。
- 屋外での長期使用や過酷な環境下でご使用の場合は、ラミネート加工などを行い、テストを実施してください。
- プリント後は十分にインクを乾燥させてからラミネート加工をしてください。乾燥が不十分の場合は、層間剥離や剥がれ、メディアの反りや縮み、受理層のひび割れ等の原因になります。
- PET基材は塩ビ基材に比べインクの乾燥に、より多くの時間を必要とします。
- ハードコート層のあるメディアにつきましては屋外掲示した場合、ハードコート層にクラックが発生する場合がありますので予めご了承ください。
- 粘着力は当社の測定条件で得られた代表値であり、保証値ではありません。再剥離タイプの糊を使用している製品は、再剥離性能の高い粘着剤を使用しておりますが、被着体や使用環境により、糊残りする場合がございます。必ずサンプルにてご確認の上で使用ください。
- 簡易施工メディア(マトリクス・エアフリー)の施工時の水貼りは避けてください。
- スチレンボードにメディアを貼り合わせる場合は、十分な圧着と収縮率の少ないスチレンボードをお勧めします。
また、再剥離タイプの粘着剤から強粘着タイプの粘着剤の製品の使用をお勧めします。
- 既存看板の上に重ね貼りをしないでください。被着体の下地が塩ビフィルムの場合は、必ず古いシートを剥がしてから施工してください。
剥がしが困難な場合は新規の下地材にメディアを貼ったものを古い看板の上に施工してください。
- PET素材のメディアに塩ビ素材のラミネート加工およびマウント加工をすると、受理層のひび割れ・剥がれ等の原因となる恐れがありますので、ご使用はお控えください。
- フィルム基材によってはカッティング加工の後、メディアを丸めて保管をすると、離型紙から部分剥離することがありますのでご注意ください。
- アルミ複合板などを繋ぎ合わせた大型ディスプレイに塩ビメディアを貼る場合は、アルミ複合板のつなぎ目でカットして巻き込んで施工してください。
巻き込みが難しい場合は、アルミ複合板のつなぎ目に薄手のアルミテープを貼るなどしてつなぎ目を動きにくくしてください。
その場合、アルミテープの段差部分はしっかりと押さえ込んでください。ひび割れ、剥がれ、トンネルなどの原因となります。
- 水貼りされる場合、メディアの吸水性が高いため、水を吸い込まないようにご注意ください。また、水分を十分に撤去してください。
水分が残っていると経時とともに水分が膨張し浮きや剥がれの原因となります。下地の種類や透明フィルムの場合、水と糊が反応して白濁する場合がありますが品質不良ではありません。施工が急がれる場合の水貼りは避けてください。
また、水貼りでできない商品もございますので、弊社担当までお問合せください。
- ラミネートするメディアの素材や素材との相性により不具合の出る可能性がありますので事前に確認されることをお勧めします。

■ 保管上の注意

- 製品の保管は、紙管に巻いた状態でPE袋に入れ宙吊りにして保管してください。
- 直射日光のあたる場所や高温多湿の場所での保管は避け、風通しのよい冷暗所で保管し、開封後はできるだけ早めにご使用ください。
- プリンタにセットした状態で保管しますと、メディアのカールやホコリの付着によるプリンタの故障の原因になりますのでご注意ください。
- 複数のメディアと一緒に保管される場合は、他のメディアの薬品等により表面が化学反応を起こし変色する場合がございます。
PE袋等に入れ保管してください。
- インクジェットメディアと可塑剤を含む製品(スチレンボードなど)を同じ場所に保管すると、可塑剤とメディアの表面が化学反応を起こして変色する場合があります。
スチレンボードなどに加工した後も、加工された製品の表面にインクジェットメディアが直接触れないようご注意ください。
- 加工後の製品を保管される場合は、製品の上に重いものは乗せないでください。変色やスジの原因となる恐れがございます。

■当カタログに掲載している商品、テキスト、画像、イラスト等の内容を無断複製、転載することを禁止します。